

# かわらばん

第58号 2024年12月14日



再審法改正に向けて—袴田巖さん再審無罪をうけて、

冤罪事件の背景をふりかえる……伊東 輝

「103万円の壁」が喧しい中で「高齢単身女性の貧困」を考える……坂元良江

投稿1 政治は誰のもの—飛鳥田市政から思うこと……鈴木忠夫

投稿2 福島原発事故の被害は今も続いている—武藤類子さんの講演から……林 克行

投稿3 SNS選挙に強くなろう……高原伸夫

少女たちに、好きなものを自由に選んでもらう Colabo の能登支援活動……角田由紀子

居心地はよかったけど……でも、いま女子大は必要？……丹羽雅代

## 再審法改正に向けて

—袴田巖さん再審無罪をうけて、冤罪事件の背景をふりかえる

伊東 輝

今年九月二六日袴田巖さんが事件から五八年ぶりに再審無罪となった。それまでの経過については多く報じられたので、ここでは割愛し、その他の冤罪事件の状況や再審法改正への動き等について書く。

袴田巖さんを支えてきた姉のひで子さんは、いつも「巖だけが再審、無罪になればいいとは思っていません。冤罪に苦しむ多くの方の再審、無罪を願っています。そのためには再審法の改正が必要ですよ」と発言された。また、今年一〇月二三日には一九八六年の福井中学生殺人事件で服役した前川彰司さんの第二次再審請求で再審開始判決が出て、その後検察官が異議申し立てを断念したため再審開始となる。

この二つの事件は、検察側が開示していなかった証拠が再審請求の審理で開示され、再審開始に結

びついた。これを見ても証拠の開示が鍵を握ることがわかる。さらに、再審開始決定に検察官が異議申し立てできるため結論が出る迄に長い年月がかかった。検察が有罪を主張するのであれば再審で主張できるので、この異議申し立ては不要である。他にも裁判官の権限の規定がないことが、再審開始請求事件の審理を遅らせてきたので、それらを含め再審法改正が急務である。

再審法改正を求める運動は数年前からの署名活動や、日弁連の改正に向けた動きの活発化で進み、今年三月に国会に超党派の「えん罪被害者のための再審法改正を早期に実現する議員連盟」が発足、三五〇名の議員の参加があった（二〇月の総選挙で若干変化）。六月には法務省にも訴えたが、同省は「現行法に問題はなく十分機能している、問題が起きても運用の

改善で対応可能」との見解だった。石破首相も記者の質問に対し議論の必要を認めるに留まる。次の通常国会では議員立法法でもぜひ進めてほしい。

この動きを進めるには世論の力が必要で、世論の動向はメディアによるところが大きいが、メディアが事件をほとんど警察発表に基づき報道したことを思い起こしたい。そのことにつき東京新聞は袴田さん無罪判決後すぐに社として袴田さんとその家族への謝罪文を掲載し、その後他の新聞も続いた。事件当初報道を信じた人が多かったと思う。各自がふり返る必要がある。

(二〇二四年一月三〇日)

\*戦後の主な未解決冤罪事件は別表のとおり。また関連して、かわらばん第48号の伊東投稿を参照されたい。



発生年月	事件名 (刑法の罪名とは別の呼び方)	被告人	判決/再審請求の経過など
1948.1	<b>帝銀事件</b> 銀行で行員等を騙し12名を毒殺、現金等を強盗。GHQ占領下で起きた事件で謎が多い。	平沢貞通 1987年 獄中死 95歳	死刑判決に対し、19回の再審請求するもすべて棄却。平沢さんは1987死亡。現在第20次再審請求中。
1949.7	<b>三鷹事件</b> 三鷹駅で無人列車が暴走し6名死亡、20名負傷。国鉄がGHQによりパージの対象となり、共産党員等が逮捕された。竹内さんは非共産党員。	竹内景助 1967年 脳腫瘍で 獄中死 45歳	無期懲役と死刑が二転三転。1955.最高裁は8:7で上告棄却し、死刑確定。1956 第1次再審請求。1967 竹内さん死亡。2011.長男が第2次再審請求。2019.東京高裁は認めない決定。2024.4.17 最高裁は特別抗告を棄却。2024.9 第3次再審請求。
1951.8	<b>菊池事件</b> 爆発物投げ込みでFさんが犯人とされ (Fさんはハンセン病に罹患していないのにハンセン病患者と通報され恵楓園に収容さる)、その後起きた殺人事件もFさんが犯人とされた。	F 1962年 死刑執行	Fさんの裁判は「特別法廷」で行われ、1957.死刑確定。再審請求を続けるも第3次請求が棄却された翌1962.9に死刑執行された。 (2001 ハンセン病国家賠償訴訟で国が敗訴、国は控訴せず、謝罪) (2016 最高裁は「特別法廷*」につき、裁判公開の原則を定めた憲法に違反として謝罪) 2020.11 国民的再審請求 (遺族の申し立ては困難だったため) ①。2021.4 Fさんの遺族が再審請求②。現在①②をあわせて熊本地裁で審理中。
1961.3	<b>名張事件</b> 地域の懇親会で出されたブドウ酒に農薬が混入され、それを飲んだ人のうち5名が死亡、12名が傷害を負った事件。奥西さんは無実を主張。	奥西勝 2015年 死亡 89歳	1964. 一審無罪。1969. 二審は一審を破棄し死刑。1972. 最高裁は上告棄却。2002. 第7次再審請求。2005.4 名古屋高裁は再審開始と死刑執行停止を決定。2010.4 最高裁は再審開始を取消し名古屋高裁に差し戻し。2012.5 名古屋高裁 再審開始を取消。2013.10 最高裁 特別抗告棄却。2013.11 第8次再審請求。2014. 棄却。2015. 異議申し立て棄却。2015. 第9次再審請求するも同年10月奥西さんは死亡。2015.11 妹が第10次再審請求。2017. 棄却。2022.3 異議申し立て棄却。2024. 1. 29 特別抗告棄却 (1人の裁判官は再審開始すべきとの意見)。第11次再審請求準備中。
1963.5	<b>狭山事件</b> 女子高校生強盗強姦殺人。警察は「部落」の者が犯人として捜査。石川さんは当時字が殆ど書けなかったのに脅迫状が証拠とされる等々、問題点が多い。石川さんは一審では起訴事実を認めたが、二審から無実を主張。	石川一雄 1994年 仮出獄 2024年 現在 85歳	1964. 一審は死刑判決。1974. 二審で無期懲役。1977. 無期懲役確定。1977. 第1次再審請求。1985. 最高裁も棄却。1986. 第2次再審請求。2005. 最高裁も棄却。2006. 東京高裁に第3次再審請求。2009から三者協議が重ねられ15年経つが、判決の見通しはまだない。

\*特別法廷 大災害時などやむをえない場合に裁判所以外の場所で開かれる法廷。ハンセン病患者はハンセン病療養所内などに設置された「特別法廷」において差別的な扱いのもとに裁かれてきた。1948-72年まで、95件開かれた。

1979.10	<b>大崎事件</b> 鹿児島県大崎町で男性の変死体が発見された（その前に農道で自転車から転落して家まで運ばれた）。 親族4人が犯人とされたが（原口さん以外は知的障害等があるという問題も）、原口さんが主犯とされ、懲役10年。	原口アヤ子 2024年 現在 96歳	服役後、1995. 第1次再審請求。2002. 再審開始決定。2004. 再審決定取消。2006. 最高裁特別抗告を棄却。2010. 第2次再審請求。2013. 棄却。高裁、最高裁も棄却を支持。2015. 第3次再審請求。2017. 鹿児島地裁は再審開始決定。2018. 福岡高裁宮崎支部も再審開始を認めた。2019.6 最高裁は地裁、高裁の決定を取消し、再審請求を棄却。2020. 3 第4次再審請求。2022. 棄却。2023. 高裁も棄却。2023.8 特別抗告。現在最高裁で審理中。
1984. 12	<b>日野町事件</b> 1984.12 滋賀県日野町の酒屋店主の女性が行方不明、1985. 1 に同人の遺体が発見された。1988. に阪原さんを逮捕。強盗殺人罪で起訴。	阪原弘 2011年 死亡 75歳	一貫して無実を訴えたが、1995. 一審は無期懲役判決。2000. 無期懲役が確定。2001. 第1次再審請求。2006 棄却。2012. 遺族が第2次再審請求。2018.7 再審開始決定。検察が即時抗告。2023.2 大阪高裁も再審開始を維持。検察官が特別抗告。最高裁で審理中。
1986.3	<b>福井中学生殺人事件</b> 自宅で留守番中の女子中学生が殺害された事件。	前川彰司 現在 59歳	1990. 一審は無罪。1995. 二審で懲役7年。1997. 最高裁で確定。2004. 第1次再審請求。2011. 名古屋高裁金沢支部で再審開始決定。2013. 名古屋高裁は再審開始を取消。2014. 最高裁も再審請求棄却。2022. 第2次再審請求。2024.10 名古屋高裁金沢支部は再審開始を認める決定。検察官が異議申し立てを断念 ⇒ 再審開始へ。
1992.2	<b>飯塚事件</b> 小学1年の女兒2人が登校中に連れ去られ飯塚市の山林で他殺体で発見された。2人に性的な暴行を含む暴行の跡があった。目撃証言の他DNA鑑定でも「ほぼ一致」とされた。しかしそのDNA鑑定は精度は低かった（同様鑑定で起訴された足利事件の菅家利和さんは後に鑑定やり直しで無罪に）。	久間三千年 2008年10月 死刑執行	無実を主張していたが、1999. 一審は死刑判決。2001. 二審は控訴棄却。2006. 上告棄却で死刑確定。再審請求準備中の2008.10.28 死刑執行（久間さん70歳）。2009. 妻が第1次再審請求。2018. 福岡高裁は棄却。2021.4 最高裁も上告を棄却。2021.7 第2次再審請求。2024.6 福岡地裁は再審請求を棄却。即時抗告し、現在福岡高裁で審理中。
1998.7	<b>和歌山カレー事件</b> 地域の夏祭りで出されたカレーに毒物が混入され4人が死亡、63名がヒ素中毒となった。カレーの見張り番をした林真須美さんが起訴されたが、林真須美さんは無実を主張。	林真須美 現在 62歳	2002. 一審は死刑判決。二審は棄却。2009.4. 特別抗告は棄却で死刑確定。2009.7 第1次再審請求。棄却。特別抗告は2021. 取り下げ。2021.5 第2次再審請求。2023.1 棄却。即事抗告。2024.2.5 第3次再審請求。和歌山地裁受理。
2001. 1	<b>北陵クリニック事件</b> 北陵クリニック病院の准看護師守大助さんが、5人の入院患者の点滴に筋弛緩剤を混入したとして殺人・殺人未遂で逮捕された。しかし患者は病死であるとも言われている（患者担当の5人の医師等）。守さんは一貫して無実を主張。	守大助 現在 53歳	2008.2 無期懲役確定。2012. 2 第1次再審請求。2014. 3 仙台地裁は棄却。2018. 2 仙台高裁も棄却。2019.11 最高裁は特別抗告を棄却。一審から最高裁まで一度も証拠調べや証拠開示がなされなかった。2024. 現在 第2次再審請求準備中。
2005.12	<b>今市事件</b> 2005.12.1 栃木県で小学1年の女兒が行方不明。翌日茨城県の山林で遺体で発見。2014. 別件で取調中の勝又拓哉を逮捕。勝又さんは一貫して無実を主張。	勝又拓哉 現在 40歳	2016.4 宇都宮地裁 無期懲役。2018. 二審（東京高裁）で検察は犯行日時・場所を変更。裁判長はそれを認め、一審の判決を破棄した上で、改めて無期懲役。2020. 最高裁は上告棄却。無期懲役確定。再審請求準備中。





## 「一〇三万円の壁」が喧しい中で 「高齢単身女性の貧困」を考える

坂元良江

優遇される専業主婦、貧困化する  
高齢単身女性

「一〇三万円の壁」\*が喧しい。  
一〇三万円の壁をはじめとする  
「年収の壁」はそもそも夫の経済  
の傘の中に居続けながらなるべ  
くたくさん収入を得ようという  
話、それが政権運営を左右するよ  
うな問題になっているのだ。妻が  
一〇三万円以上働けば所得税が  
かり、一〇六万円以上働けば社会  
保険料の支払いが義務づけられ

\*「壁」とは所得税などがかかる金  
額の境目を表している。勤め人の場  
合、基礎控除三八万円と給与所得控除  
五五万円を足した一〇三万円を超えた  
額に所得税がかかる。さらに一〇六万  
円を超えると社会保険料の支払いが発  
生する。また二三歳以下の学生や専業  
主婦のアルバイト・パート収入が一定  
の「壁」を越えると、生計を担う親や  
夫の所得税の扶養控除がなくなり、そ  
のぶん手取り収入が減る。

る。一三〇万円以上働くと扶養家

族から外れ社会保険料負担だけで  
なく配偶者控除などが減少する。  
それが一三〇万円の壁だ。それら  
の「壁」を引き上げ一七八万円ま  
では税の支払いも年金や社会保険  
料も負担せず夫の扶養家族でいら  
れるという案だ。それによる税の  
減収は八兆円だという。地方自治  
体の負担も大きく、県知事たちの  
悲鳴が聞こえている。

友人の中にはすでに夫を亡くし  
夫の遺族年金の支給を受けている  
人も多い。友人の一人は気楽に言  
う。「遺族年金には税金がから  
ないの、だから『非課税世帯』へ  
の給付金ももらえるのよ、家も残  
してくれまし、一人でも何も困ら  
ないでいられるわ」と。

一九八五年「3号被保険者」の  
制度ができ夫の厚生年金は「夫婦  
二人分」として支給されることに  
なった。夫が死亡しても妻が夫の

年金を遺族年金として引き継げる  
のだ。八〇年代は専業主婦が主流  
の時代だった。その主婦たちが今  
高齢になり夫の遺族年金をもらっ  
ている。

一方、高齢単身女性の四四％は  
貧困だという。資料が二〇一八年  
のもので今はさらに上がっている  
に違いない。新宿の都庁下で行わ  
れている食料支援の列に、以前は  
ほとんどいなかった高齢女性が大  
勢並ぶという記事も読んだ。

貧困高齢女性の中で一番貧困率  
が高いのは「離別女性」。離婚に  
より一人となった女性だ。「年金  
分割」が必ずしもなされているわ  
けではなく、主婦だったため働い  
ていなかったり、一〇三万円以下  
の働きだったため自身の年金を持  
たない女性たちだ。

次が「単身高齢女性」。若い頃  
から定年年齢まで働き自身の年金  
権を持っている人たちだ。それで  
も年金など年間世帯収入一五〇万  
円以下しかない高齢単身女性は  
四五％、単身男性二九％に比べて  
はるかに多い。理由は単純、女性  
が働く場が限られていた時代、た

とえ働いても男女の賃金差は大き  
く補助的な仕事がほとんどで低賃  
金は当たり前だった。二〇二二年  
調査では男性の収入を一〇〇とし  
て比較すると女性の収入は七五％  
まで上がっているが、一九七六  
年は五九・七％、二〇〇一年  
六五・三％だった。男女とも収入  
がピークとなる五五歳から五九歳  
の男性の収入月額四一万六五〇〇  
円に比べ女性は二八万円でしかな  
い(二〇二二年厚労省資料)。現  
役時代の収入とリンクする年金額  
は低く、低賃金では貯えもまな  
らなかつただろう。サラリーマン  
だった夫を失い遺族年金の支給を  
受けている高齢単身女性は貧困と  
はならない。「第3号被保険者制  
度の恩恵」は絶大だ。

「第3号被保険者制度」が出来  
た一九八五年に比べて現在は夫婦  
ともが税金も社会保険料も支払う  
共働夫婦は増えている。結婚はせ  
ず職業をもって自立する女性も増  
え続けている。サラリーマンの父  
親と専業主婦のお母さん、子ども  
二人の「標準家族」は少数派にな  
っているのだ。政治家たちはそ

それでも将来にわたって税金は負担せず、「3号被保険者」である主婦を守ろうというのだ。彼らの妻たちがみな専業主婦だからそれが当たり前にかと思えないのか、いまだにそれが世の中のマジョリティーの価値観なのだろうか。

「養われる女」から

「自立した人間」に

主婦たちの就労調整が女性の低賃金化の原因になっているとの指摘もある。誰もが働きたいだけ働き、働いた収入に相応な税金を払い、社会保険料も支払う、その代わり累進課税の方法で低収入の人の税率は低く高収入の人は税金も高額という制度が望ましい。もちろん女性が出産や子育て期にも働ける環境が保証され、家事や育児さらに介護は女の仕事という社会全体の価値観が変わることは必須だ。

スタートしてすでに四〇年になろうとする年金の「3号被保険者制度」も廃止して個人個人が年金権を持ち「養われる女」から「自

立した人間」になりたいものだ。

なお、この「一〇三万円の壁」議論の際にアルバイト学生のケースがよく取り上げられる。親の扶養家族から外れないための調整だ。これを主婦のケースと同じに扱うのは全く違ってしている。学生が毎月一〇万円近いアルバイトをしなくてはならないなら、学生には授業料だけではない生活補助も含めた奨学金を支給するべきではないか。ある学生は新聞のインタビューに答えて、将来奨学金の返済があるので学生のうちにアルバイトをして貯金しておく、と言うのだ。大人たちはこんな未来しか彼らに約束できないのだろうか。

(二〇二四年二月一日)



投稿1

## 政治は誰のもの

— 飛鳥田市政から思うこと

鈴木忠夫

市民本位の市政が過去にあった

一九六三年四月から一九七八年三月までの一五年の長きにわたり飛鳥田一雄市長は、市民本位の市政を行い、市民の信頼を得て横浜の街づくりに貢献しました。

長期政権は腐敗すると冒頭に言いました。飛鳥田市政は長期政権を否定する考えと一見矛盾するようですが、誰の為の政治かという政治姿勢で決まるように思いますが、政治対象が市民の場合と、経済界の為とはまったく違います。経済界は大手企業や資本家に利益を生み出すような政治を欲し、様々な形をとって政治家に献金します。そしてその見返りは政治家の懐を潤し、政治と経済の癒着へと繋がっていきます。自民党の裏金問題はその一つの表れです。

市民のための政治は安心、安全、市民生活がすこしでも健康的で豊かな生活が営めるようにという結果が戻ってくるだけで金の動くことはありません。

飛鳥田市長の市民本位の市政が

いかなるものであったか、横浜市民である私の記憶と体験をもとに申し上げたいと思います。

私の記憶にある第一は、私たちの日常生活が少しでも楽しく、健康やかな生活ができるようにと飛鳥田市政が動いたことです。一つの例はお買い物道路といわれる路地にまで簡易舗装を施し、私たちが雨の日に泥んこ道を歩かないで済むようにしました。昭和三〇年代には未舗装の路地が市内あちらこちらにあり、雨が降ると泥んこ道に変わるので、簡易舗装を施してくれたおかげで買い物ばかりか通勤通学時にも泥んこ道を歩かないで済むようになりました。このような細かい路地には国から補助金は出ません。飛鳥田市長は乏しい市の財政から予算を捻出し、市民のための政治を行ったのです。またちびっ子プールと称する深さ五〇センチにも満たない浅い小さなプールを市内のあちらこちらに新設し、夏にちびっ子たちが気軽に水遊びができるようにしてくれました。飛鳥田市政の市政方針は、「子どもを大切にする市政」と「誰

でも住みたくなる市政」です。路地の簡易舗装もちびっ子プールもその一例に過ぎません。そのほか「誕生記念植樹」、「ちびっ子広場」、「ちびっ子動物園」、子どもたちに野球を見せてやりたいと、飛鳥田市長は都市計画を進める幹部連に逆らってまでも横浜公園に野球場（横浜スタジアム）を建設しました。これらは子どもを大切にする政治を現実化したいとの飛鳥田市長の思いの表れです。

誕生記念植樹は市が一、〇〇〇円、植樹を希望する親が一、〇〇〇円という分担で行われま



横浜スタジアム

園に桜を植樹しました。子供誕生を祝う気持ちはもちろんですが、春になると外国から大型客船が横浜に立ち寄り、その時真っ先に山下公園あたりの風景が目に入るはずです。山下公園に植えられた桜が満開で外国からのお客さんを歓迎する。そんな風景を思い描いて植樹しました。

しかしその後、市長も変わり、一九八九年に開港百年を記念し横浜博覧会がみなとみらい地区を中心に開催されると、横浜博覧会のために山下公園の記念植樹は全部伐採されてしまいました。これは政治が誰のための政治であるかを象徴する出来事だと思います。

### 市民も市民的に成熟すること

飛鳥田市長は直接民主主義を提唱し、市民一人ひとりの声を市政に反映させようとした。その一つは「市長への手紙」という仕組みです。提言用紙は市内の鉄道駅などにも配布されていて、私たち市民が気軽に市長に手紙による提言をすることができるようです。

また多くの市民の声を聞こうと一万人集会を開きましたが、議会軽視という議会側から猛反発を受け、この集会は二度催されただけで終わりました。しかし飛鳥田市長は市民の声を多く吸い上げ、市民のための政治を行おうと努力し、地域の市民集会に飛鳥田市長はたびたび出席し、市民の声を自らの耳で聞こうとしました。区民会議という仕組みを作り、市民主導の会議を持ち、市政に反映させようとなりました。私も初期の頃、区民会議委員の一人として地域で抱える問題を議論し、区側に提案するという作業に係りました。区民会議という仕組みは今でも続いています。区民会議という仕組みは、都合の良い方向に誘導されかねません。私が参加した初期の区民会議でも区役所側にそのような姿勢を感じたものです。

立派な仕組みができて、形骸化させないためには市民側も市民的に成熟していかないと画餅に終わってしまうでしょう。

また飛鳥田市長は文化人としての面も持つていて、自ら文化講演



の講師を務め、横浜の歴史、文化にまつわる話をしたり、横浜市教育センターのホールで文化人・知識人の文化講演、文楽や数々の日本芸能など、私たち市民に文化的催しを無料で提供してくれました。

飛鳥田市長は著書『革新市政の展望』の中で、「私たちが関心を持とうと持つまいと政治は私たちの生活に係わって来る」と述べています。昨今の投票率の低さはそのような意味で嘆かわしいと言わざるを得ません。世の中を良くするも悪くするも私たちが政治にどれほど強い関心を持っているかで決まって来るのです。

「一票で変える女たちの会」は、一票の力が結集すれば大きな力を持つて政治を動かせるという思いを込めた名称と私は理解しています。

そして政治は誰の為か、飛鳥田市長が市民本位の市政を実行しようとした市政方針、「子どもを大切にする市政」「誰でも住みたくなる市政」は誰のための政治であるかを如実に示しているように思

います。私利私欲まみれの政治は裏金問題が象徴しています。今こそ政治を私たちのために取り戻しましょう。

(二〇二四年二月一日)

投稿2

## 福島原発事故の被害は

### 今も続いている

— 武藤類子さんの講演から

林 克行

福島県三春町在住で、原発の暮らしを提案する里山喫茶を営みながら、原発、被災者救済運動に長年にわたり文字通り献身されている武藤類子さん。彼女は、七〇歳を超えたご高齢でありながら、福島原発告訴団団長など原発事故関連団体の責任者として、闘い続けている。

一〇月下旬、地元の小田原で行われた講演を聴きに行った。福島原発の今については、時たま新聞

で接するくらいで、ちょっとぼんやりしていた私にとっては、その情熱を秘めた淡々とした語りは大きな衝撃であった。同時に、マスクミは真実をまともに伝えようとしていないことに気づかされたのである。

## 生命・生活を救済しない

端的に言うと、事故から一三年も経つのに、原子力緊急事態宣言はいまだ解除されていないのに、除染・廃炉・復興の進展の掛け声を喧伝している。その一方、原発事故の被害は救済どころか、広がり続けているのであった。

第一に、人の生命・生活を奪ったままにしている。

今も故郷に帰れない人が六万人もいるし（公表は三万）、立ち入り禁止区域が七つもの町村にあるという。原発サイト内での過酷な被ばく労働におおよそ四〇〇〇人をも狩り出して、甚大な被ばく事故を引き起こしている。一八歳以下の甲状腺がん・その疑いのある者が三三八人にまで増えているの

に、スクリーニング効果や過剰診断だと言い張って事故との因果関係を認めようとしなさい。さらに漁協との約束をほごにして汚染水を海洋放出し、また除染土を「再生資材」と呼び、野菜を直接植える実証事業は、漁民・農民をあまりに蔑ろにしているという。

## 廃炉計画は夢の夢、処理水は汚染水

次に、廃炉、排水作業に係るデ



写真：福島第一原発1～4号機 2011年3月16日公開  
東京電力ホールディングス

タラメきである。

燃料デブリの取り出しについては高額を投じて外国に作らせたロボットが機能しないことは報じられたが、その後の「釣り竿方式」も難航した。これは放射線量が極めて高いことが大きな障壁のようだが、デブリをやつと取り出した。取り出したと言っても、たったの三グラムほどに過ぎない。全体で八八〇トンも残っているというのであるから、「廃炉四〇年計画」なんて、夢のまた夢物語であるという。われわれは孫の孫の世代まで、この超危険物体を残すことになりかねない。

政府・東電は、汚染水という言葉葉を否定し、処理水と呼ぶことに躍起になっているが、しかし、ALPS処理してもトリチウムはじめ一〇〇〇種類もの放射性物質が残存しているという指摘もあるようだから、汚染水に決まっている。また、東電は三〇年ほどで海洋放出は終わると言っているが、汚染水が発生し続けているので、永遠に垂れ流すことになりかねないという。そもそも汚染水の海洋放出

は、国際環境法条約や国連海洋法条約の理念に反しているそうである。中国などの抗議を「いちやもん」と片付けられないのである。

疑問だらけの「福島イノベーション・コースト構想」

第三に、驚くべきことであるが、被害者救済・復興をまともにやらない代わりに、二〇一四年から莫大な復興予算を投じて「福島イノベーション・コースト構想」なるものを展開している。これは、ロボット関連、ドローン基地、完全閉鎖型植物工場、陸上エビ養殖など多々あるが、東電関連企業や防衛庁が参画し、放射線科学や軍事関連事業も、研究・開発されるのではないかと疑われているという。さらに「イノベーション・コースト構想」の司令塔としてFIR E I「福島国際研究教育機構」が、最初の七年間で一〇〇〇億円の予算で今年から建設される。これは、アメリカのハンフォード核施設周辺町のトリチランドの復興事業に倣ったようであるが、実はこの町

は今も原爆を賛美する町である。福島市の被災住民を逆なでするものであり、大きな怒りを感じるが、ほとんどの住民は、「復興」の名のもとに実情を知らされていない。

多種多様な訴訟を闘う中で

こうした不確かで拙劣な廃炉・除染事業の強行、不誠実かつ極めて不十分な被災者・被災地救済施策に対して、武藤さんたちは、県庁前スタンディングなどの抗議行動、市民意見交換会、国や東電への申し入れなど様々な行動を展開しているが、埒が明かない。並行して裁判闘争に打って出ざるを得ない。福島原発事故関連訴訟は主なものでも何と四九件、集団ADR（裁判外紛争処理手続）六件にも及ぶ。損害賠償訴訟、ALPS処理汚染水差止訴訟、「ふるさとを返せ」福島原発避難者訴訟、「三・一一子ども甲状腺がん裁判、など極めて多岐にわたる。武藤さんは、原発事故被害者団体連絡会共同代表として多くの裁判に関わっ

てきたが、東電旧経営陣・政府関係者らを業務上過失致死傷罪で全国一四、七一六名とともに刑事告訴・告発した福島原発告訴団の団長でもある。しかし、判決が出た裁判ではほとんどは請求・告発は容認されていない（例外として、東電旧経営陣五人に約一三兆円の賠償を命じた東京地裁判決がある。現在、高裁で審議中）。驚くべきことに、敗訴した刑事裁判の上告審を担当する最高裁第二小法廷（四人）のうち、草野耕一判事は以前「西村あさひ法律事務所」という巨大ローファームの共同経営者であり、パートナー経営者は東電の社外取締役である。さらに、二〇二二年に民事の損害賠償裁判で「国の責任はない」という判決を出した菅野博之判事は、判決直後、東電の代理人が多数いる大手法律事務所にて天下りしている。これでは司法の独立などあり得ない。草野判事には「回避」を要求しているようであるが、彼等が東電旧経営陣らの無罪判決を維持したら、次の国民審査では、×を記さなければならない。



若者、マスコミを対象にした政府の宣伝作戦

他方、政府サイドの「風評対策」「原発安全」の宣伝、キャンペーンも半端ではない。

特に汚染水否定では、学校やマスコミへのPRに躍起になった。特筆すべきは、宣伝会社の電通に謀略的ともいえる綿密なメディア戦略を作らせていることである。また、復興庁の職員を高校に「出前授業」をさせたり、小学校に協力させて講座を開こうとしたりしている。さらに環境省は、若い世



代を対象に福島「チャレンジ・アワード」と称する作文・プレゼンを募集し、風評被害を告発する高校生の作文に県知事賞を授与したりしているという。若い将来世代を重点的にマインドコントロールしようとしていることには注目すべきである。

### 将来世代のために原発ノー！

二〇一四年、福井地裁で原発差止の判決を下した樋口英明裁判長は、科学的分析によつて日本の原発の耐震性はたいへん弱いことを証明している。事実、今年一月の能登半島地震では志賀原発二号機からは約二万リットルの油漏れがあった（当初発表は三、五〇〇リットル）。政府・自治体は南海トラフ巨大地震が来るかもしれないと大騒ぎしているのに、原発はさらに推進しようとしているのである。一〇月二九日には被災地である宮城県にある女川原発が再稼働した。原発に関する宣伝を小学生までの若者に重点を置いているのを見ると、原発推進派は、将来

にわたる展開を想定しているのは間違いない。

### 原子力信仰を打破しよう

導入以来、天文学的な税金を投入した原発。地震国日本での原発は、核兵器並みかそれ以上の惨事をもたらしかねないことを福島原発事故は白日の下に晒したのに、その被害を過小に評価し、「風評対策」に躍起になり、被害救済をネグレクトし、原発稼働に突き進んでいる。その動機は、膨大な利権構造か、原発の輸出戦略化か、自前の核兵器開発か、推測の域を出ない。武藤さんは、われわれが多かれ少なかれ抱いている原子力という巨大なエネルギーへの信仰を打破しなければならないと考えておられるようだ。

私達は、福島原発事故とその後の実態を、宣伝に惑わされることなく凝視し追及し、将来世代のために原発の声を上げ続けていかなければならないと痛感するのである。

(二〇一四年一月二日)

### ★読者のみなさまへ★

一票で変える女たちの会では、「かわらばん」発行のお知らせや投稿募集、憲法集会などの情報を不定期に配信専用のメーリングリスト (ML: 1votewoman@mio-minmio.sakura.ne.jp) でお届けしています。

しかし、最近このMLが届かないという方が増えてきました。多くの場合、迷惑メールとして処理されてしまうようです。お手数ですが、迷惑メールボックスなどをチェックして、受信箱に戻すか、「迷惑メールではない」をクリックしていただきたく、お願いいたします。

また、会からのMLが不要の方、アドレスの変更や新たな登録を希望される方は、1pyodekaeru@gmail.com までお知らせ下さいますよう、お願いいたします。



投稿3

# SNS選挙に 強くなろう

高原伸夫

最近の選挙結果は驚かされることばかり。今までの感覚とは全く違い、どうしてこんなことになるのか、今後の選挙にどう臨んだら良いのか、考えてみたい。

七月の東京都知事選では、石丸伸二候補の得票が連舫候補を上回って次点に入り、一〇月の衆院選では、玉木雄一郎代表の率いる国民民主党が大幅に議席を伸ばし、参政党・日本保守党まで複数議席を獲得。そして十一月の兵庫県知事選では斎藤元彦前知事が返り咲いた。この選挙には公職選挙法違反の疑いまで出ているが。

これらの結果に共通しているのは、SNSを駆使した新しい選挙戦術。この手法を操る選挙参謀業

者もいるようだ。カネさえ払えば、候補者陣営の後援会組織が小さくても運動員が少なくても、新規大量の票を取り込める。

SNSとは何か。そのサービスには、「Twitter (X)」、Facebook、Instagram、LINE、TikTokなどがあり、主な特徴は  
○不特定多数の他人に対しても情報を共有できる。

○検索エンジンを使わずSNSで情報収集する人に発信する、特に若年層に。

SNS企業の代表例として「(株)クラウドワークス」がある。この会社の概要は「個人や法人による業務委託の仕事を受発注できるインターネット上のマッチングサイト」で、報酬の授受方法が記されている。フリーランス登録会員四〇〇万人以上、発注する仕事カテゴリごとの発注相場一覧表がある。「ライティング」の記事一文字一円から、「YouTube動画作成・編集」の八千円以上、「ロゴ作成・イラスト作成」の三万円以上、ホームページ制作やシステム開発・翻訳など、数十に

亘るカテゴリを表示。(ホームページは、<https://crowdworks.jp/pages/guides/employer/pricing>)。

この企業が十月七日付で「動画シナリオ・台本・構成作成」の仕事を発注、政治系チャンネル(石丸伸二・斎藤知事など)でのライターを募集している。政治系の動画好き・スキマ時間に稼ぎたい人対象に、月二〇〇本以上の投稿を期待して台本作成を依頼、参考チャンネルの動画を送るとある。

こうして登録会員動員で刻々作成されたキャッチコピーや動画類が選挙で使われて、大量のSNS・動画発信となる。石丸伸二のYouTubeなどネット応援部隊が国民民主党の玉木雄一郎応援部隊にシフトして、青壮年層支持率を急上昇させたカラクリはこれだった。

兵庫県知事選の場合、「『チームさいとう』公式LINE」のグループ登録者が組織された。問題のすり替えと選挙攪乱の得意な選挙ヤクザ・立花孝志を引っ張り込んで

『一票で変える女たちの会』かわらばん  
★印刷版をご希望の方は左記FAX、メール、ホームページの問合せ欄からご連絡ください。

★投稿大歓迎！

本や映画の紹介、地域での活動報告、選挙や地域の政治の動き、情報、ご意見なんでもお寄せください。

宛先

Email: 1pyodekaeru@gmail.com

郵便: 〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センター メールボックスNo. 45

FAX: 03-5684-1412

HP: <https://1pyo-de-kaeru.com>

★カンパのお願い

私たちの活動に賛同する皆さん、ぜひカンパを！

郵便振替口座:

記号番号: 00110-6-420003

口座名称 一票で変える女たちの会

イッピョウデカエルオンナたちノカイ

銀行等から振り込む場合:

店名(店番) 〇一九(ゼロイチキョウ)

店 (019)

預金種目 当座

口座番号 0420003

口座番号 0420003



大量のフェイク情報を流し、一方、齋藤知事自身が直接頼んだ折田楓の merchu 社・総動員という両輪の活動があった。その結果、選挙後も「齋藤知事は正しい」と信じて疑わない確信応援団が大量に生まれている。

そして馴染みのない言葉だが「アルゴリズム」「いいね」や「リプライ」などのユーザー行動データに基づいて、コンテンツの配信を決める手法のこと。また「エコーチェンバー」。フォロワーの中で同質のコミュニティを作り、そこに情報を流し、ターゲットに対して攻撃をする手法。情報を「真実」だと言い張り、即物的な正義感で特定のターゲットへのバッシングを生み、生活への大きな被害と選挙結果に影響を与える。立花の絡んだ「『チームさいとう』公式LINE」登録者がこれで動いた。これら新手法が大きく選挙を動かした。

既存政党勢力は、以上のようなSNSを活用した選挙手法をよく知って、これらに浮動票を奪われない選挙活動の在り方を研究し

てゆく必要がある。これは喫緊の課題と思われる。

(二〇二四年二月六日)

少女たちに、好きなものを自由に選んでもらう

## Colabo の能登支援活動

角田由紀子



二〇二四年元日に能登地方を襲った地震から一年がたとうとしている。被災地は今どうなっているのか。どのくらいの人が気にかけているのだろうか。その後が報道されることもめっきりなくなってきた。

被災地の多くはもともと過疎地であったこともあり、復旧は遅々として進んでいない。そんな被災地の少女たちや女性のことを思つて Colabo は二月からほぼ毎月支援に赴いてきた。あのピンクバスとハイエースに支援物資を山積みにして。九月末に訪問したときは途中で大雨に遭遇したが、何とかどり着いた。

以下はその訪問の一部の報告で

ある。

受け取る相手のことを常に考える

出会った人は二月から一〇月まで二、七六五人。Colabo が単に物資を配りに行つたのではないことがこの数字からもわかる。例えば、第三回目の四月。四月二二日から二八日までかけて中・高等学校一カ所。先生向けカフェ中高で一カ所。児童養護施設一カ所、避難所四カ所を訪問し六六一人に出会い、物品を届けた。物品はカフェ形式で教室などで机に大きく広げて生徒たちに好きなものを自由に選んでもらった。このやり方はとても重要だ。お仕着

せではなく「自分の好きなものを選べる」ことは個人の選択権の保障であり、個人が自立した存在として尊重されていることを示す。

Colabo の訪問は物品を届けるだけでなく、少女たち、女性たちとのカフェでの出会いを大切にしてきた。出会って彼女たちとの関係を築くことが大事なのだ。これは Colabo の東京での日常活動から生まれた哲学である。だから、被災直後に全国から届けられた物資（支援）の内容とは一線を画している。それはそれで必要で重要ではあったが、受け取る相手のことを常に考えるのが Colabo のやり方だ。だから彼女たちの欲しいだろうものを想定して品物をそろえる。二月に行つたとき中学生の女の子たちは Colabo の持つてきた洋服が自分に似合うかどうか確かめるのに上着を脱ぎながらなかつたことがあった。彼女たちはお揃いのTシャツをその下に着ていた。それはある男性ボクサーの顔写真が一面にプリントされたものだった。着るものがないので配給されたそれを着ていたのだが、



少女たちはそのことに傷つき人に見られたくなかった。彼女たちはColaboの持って行った衣類に歓声を上げた。いわゆる支援物資の中には、少女や女性が着たいと思える衣類や靴が圧倒的に不足していた。支援してもらえるのだから贅沢言うなどというのは違う。支援の前提に相手への敬意がなければならぬはずだ。

四月の訪問のときは、夏服や水筒、サンリオのミラーや櫛、折り畳み傘なども用意した。ドライヤー、ヘアアイロン、モバイルバッテリーなども運んだ。これらの品物はカフェで並べると一〇分程度でなくなった。生活に必要なすべてのものが手元にない状況が続いていたのだ。初めは少女たち用の品物しか準備しなかったが先生たちも不自由していることが分かり、二回目からは先生用の品物も加えた。先生たちも被災しており、いっぱいいっぱい状態であったのだ。先生向けのカフェも行い、先生たちにも必要なものを選んでもらった。四月からお弁当が始まるので、お弁当グッズを用意。高校

生には通学バッグやローファー、靴下、カーディガンも用意したがまたあつという間になくなった。

### 少女たちとの関係構築に心を砕く

回を重ねる訪問でColaboは「知らない人」から「ピンクのバスで来る知っている人たち」に変わった。生徒たちは、「またね」というColaboの別れの挨拶が単なる挨拶ではなく実行されたことに感じ入っていたようだ。「見過ごされる地域だから来てくれて嬉しい」という現地の人々のことばに、不十分な支援などからも見放され感を抱かされていたことを感じた。サポートがないのに行政は自立を促しており、今後も物品やケアの活動を継続していかねばと感じたという。

児童養護施設の職員の人たちからは「物資の支援はあってもこういう形で自分で好きなものを選べることは他にないから嬉しいんだと思う」「また来てください。顔を出してくれるだけでも子どもは喜ぶので」と言われた。

物品の調達などはColaboの支援者からの寄付などによっている。総計四、〇〇〇万円以上でそのうち二四、〇〇万円は物品寄付を含めた寄付や助成金によっている。

被災地の女性たちの苦境に付け込んで性加害や買春業者が入ることがあるのは三・一一で起きたことだった。Colaboが少女たちとの関係構築に心を砕くのもそのことへの配慮がある。

参加したColaboのスタッフもたくさんいることを学んだ。それはこれからの活動に生かされるはずだ。

(二〇二四年二月七日)

### Colaboへの支援

- ・ ゆうちよ銀行（振替先選択で「記号番号」から振込）
- 記号：10150 番号：91829801
- 名義：イッパンシャダンハウジングコラボ
- ・ ゆうちよ銀行（他金融機関、ゆうちよ銀行振替先選択で、店名から振込）
- 店名：〇一八（ゼロイチハチ）
- 店番：018 口座：普通 918298

名義：イッパンシャダンハウジングコラボ

・ 三菱UFJ銀行渋谷中央支店  
口座：普通 0363448

名義：イッパンシャダンハウジングコラボ

・ amazon 「Colaboの欲しい物リスト」から品物を購入し送ることもできます。詳しくはこちらから。

<https://colabo-official.net/support/>



居心地はよかったけど……

でも、いま女子大は必要？

丹羽雅代

しばらく前のこと、市が主催するジェンダー関連の学習会があった。前は一所懸命情報収集に励んでいた女性差別撤廃委員会なども含め、変化してきていることも等々考えさせられることも多く、ちよつと底が浅かったのは残念だけれど、興味深いものだった。講演後の質問タイム。参加者から手が上がった。「国立女子大が二校ありますが、受験できるのが女性に限られるって、憲法違反じゃないですか？」



私の出身大学は件の女子大。思えば、得難い四年間だった。大切な何人かの友人たちとの付き合いはいまも続く。

入学式で心底驚いた。前も後ろも周囲みんなが女ばかり、当たり前だけれどなんだか不思議だった。

なぜその大学を選択したのか。理由は簡単で、親とあまりもめることなく家を離れる理由としてほかに思いつかなかつたからだ。もう六〇年も前のことになる。

女性が大学に行くというのまだ少数の時代だった。女性の進学率は二年制短大が多く全国進学率が一〇%あまり、四年制に行こうというのは五%にも満たない。まして自宅から通えないなんて頭から考えたこともないという両親や祖母たち。女の子なんだからという空気は当たり前前にびつしり張り巡らされていた。

行きたい、行けそうな大学を探した。下宿でなく、学生寮があった自宅通学でなくても大丈夫と思つてもらえるところ。理学部があるとところ（入つてすぐこれが自分には無謀だったなあと分かつたが）。東京は人が多くて住みたい気がせず、関西なら暮らしやすそう。もちろん奨学金も希望した。

当時は特別奨学金月額八〇〇〇円の貸与枠があつたから、親からの仕送りはほとんどなくても何とかなる。今日奨学金返済で苦しんでいる人たちには申し訳ないが、教員になろうと思つていた私は返済がいらぬことになる。もし返済することになつても（実際そうなつたのだが）半分以下の月額三〇〇〇円だけでいいという。

学費も安く（年額八〇〇〇円だつたと思う）、寮費は月額一〇〇〇円（ちょうどピカピカの寮ができて、新寮の費用が三〇〇円になるといふので、寮費三倍化反対というのが私の社会運動の最初に出会つたテーマだつた?）、食費も今から思えば考えられないような額。その代わり、質素さも

この上なく、事故で輸血の必要な知人に私も含め寮生ばかりが輸血はアウトだつたという結果に表れていた。

もつとしつかり勉強すればよかつたなあと今は思う。わざわざ女子大を選んだわけではないが、学生という立場が大切にされていた恵まれた時代で、良い四年間だつた。まだ戦前の女子高等師範学校時代の校舎が大部分そのまま使われていた。かび臭いような甘酸っぱいような独特なおいを今も覚えている。しかし女子教育の場が意識されていたかどうか。教員職員も、理学部・文学部は男性のほうが多かつたように思う。もちろん自治会やサークル活動などはすべて女性が担つていたというのは当然だが、新鮮だつた。

最近の大学進学率などの統計にびつくり。大学の数は五〇年前には全国で約二〇〇校（国立七〇、公立二六、私立一〇五）余だつたものが現在は国立八六、公立九八、私立五一四と七〇〇校を

数える。公立大学は一九九〇年代から二〇〇〇年代にかけて短期大学の四年制化がすすめられ、それを機に共学に変わったところも多い。学生数は二〇二一年時点の国公立大学の合計数五八万人に対して私立大学在籍者数は二〇五万人。大学進学率は男子が五〇年前には一三・七%だったのが五八・一%、女子は二・五%から五一・七%（一九六〇年と二〇二一年の比較）で、大学院への進学率も二五万人以上、もう珍しいことではなくなっている。

しかし、一九九一年には一八歳人口はピークを迎えて、現在は減少の一途。あえて国公立女子大・小・中・高がある必然性はどこにあるだろうか。私の出身校は前身が女性教員養成のために作られたものだが、大学に聞いてみると、戸籍上女性であればトランスジェンダーもOKだが、男性は受け付けないというし、変える動きも聞かない。

そういえば埼玉県は男女別公立高校が日本中で一番多いそうだが、

が、共学化を進めるといふ方針が明確になつたらしく、大論議になつている。

別学・共学論争で多くの人が最大の関心を向けるのは、教育効果のようだが、人格形成、学業達成、成人後の社会的役割の選択など、特に男女別学に根拠を置くような現実は見当たらないように思う。せめて社会に相変わらず蔓延する性差別・性別役割を動かす主体となることを、男女別学のご利益（？）を受けた人たちの責務としたい。

でも、無意味に権力を振り回す存在がいけないという環境、居心地は本当に良かったなあ。

一番良かったのは長い歴史を持つ奈良という、今でも大好きな土地地域の魅力のほうが大きかったのかもしれない。

（二〇二四年二月八日）

